

富来町健民ホッケー競技場仮設に物資を届け、対話重ねる

町の支援と情報が欲しい

トレーラー型65世帯

14日、徳島と長野のグループが志賀町の富来(とぎ)仮設を訪問。ルス宅にはセンター発行のチラシを入れ、在宅していた20軒に支援物資を届け、お困りごとを伺いました。志賀町に吸収合併された旧富来町の仮設に支援はなく、「お米と水、生活雑貨は助かる」「聴いてもらえてありがたい。以前は災害無線で町のことは分かったが、今は届かない。スマホに慣れない高齢者には情報を紙でほしい」などの声が寄せられました。洗濯物は周りから丸見え。「こどもを含めて5人家族に仮設は狭い」上に、雨の日は部屋干しでさらに狭くなります。



No18 ニュース最下段の災害ごみの処理の項は「珠洲市が柔軟に対応するよう是正を求めたい」に訂正します。

佐藤県議が環境農林建設委員会で被災者支援の質問

13日(月)、佐藤県議は

県議会環境農林建設委員

会で被災者支援について以

下の項目で質問しました。

○長屋型、戸建て風の仮設

住宅が市町有住宅など

に転用された場合、住み

替えを可能にするなど、

柔軟な対応を求めたい。

↓市・町の判断

○仮設住宅の民有地活用

について↓一部進む。

○液状化対策―宅地液状

化防止事業、耐震改修

工事について↓市・町で

説明会が始まっている。

○公費解体申請にあたり、

申請者が固定資産税を

納付していれば、所有者

が違っても公費解体で

きないか。

↓法的規制がある。

○仮設住宅入居者の方へ

の政府の備蓄米を活用

してはどうか。

↓市・町の判断で可能

日本共産党国会議員団と藤野センター長ら政府に申し入れ

15日、田村委員長、小池書記局長、井上参院議員、田村(貴)・衆院議員と藤野センター長は内閣総理大臣と防災担当大臣に被災者支援を要請。

○がれき処理、被災家屋の公費解体の促進、宅地内水道配管の補修。

○コミュニティの再生を含めたくらし、生業の再建を支援すること。多重被災に苦しむすべての被災者を対象にした相談、見守りなど、心のケアを重視すること。

○仮設住宅後の住まいの展望がもてるよう、戸建ての公営住宅、支援金の上乗せなど、住宅再建への支援を抜本的に強化すること。

○地場・伝統産業、観光業への支援制度への柔軟な運用を図ること。

○医療・介護施設とその雇用が維持できるように支援を強化することなど。詳細は次号

